

# 【回 覧】

令和元年度 第1号

## 育成会だより

発行所-今金町手をつなぐ育成会

〒049-4327

北海道瀬棚郡今金町字神丘

912-11

電話 0137-82-0705

Fax 0137-82-2270



九月十三日施設研修にて

会員、及び町民の皆様には、日頃より大変お世話になっております。  
令和元年度も半分を過ぎようとしておりますが、総会に於いて承認頂いた事業につきましては、お陰様でいくつか実施させて頂くことが出来ました。  
大変遅くなりましたが、上半期の事業についてご報告させて頂きます。

## 令和元年度今金町手をつなぐ育成会総会



令和元年六月十日、今金町相談支援事業所「ひかり」にて、令和元年度今金町手をつなぐ育成会総会が開催されました。  
会員皆様に出席して頂き、平成三十年事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算案等について審議され、事務局提案通り承認いただきました。  
また、今年度役員改選にて新役員が承認されています。

### 新役員

会長 藤川 治喜

副会長 螺良 孝司 安西 芳勝

監事 小西 直貴 水上 智

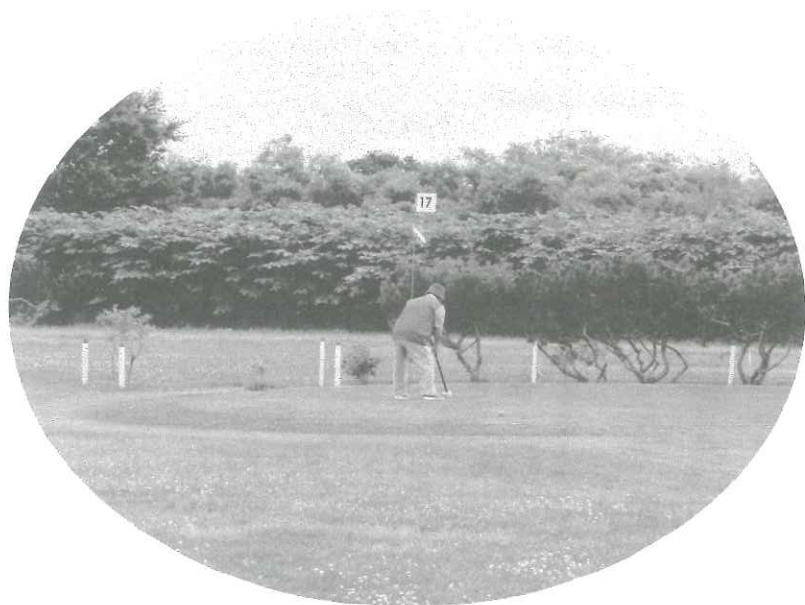
# スポーツ教室

去る七月二十日(土)、今金町パークゴルフ場「清流」にて、今年度もパークゴルフを実施種目として「スポーツ教室」が開催されました。

この事業は北海道障がい者スポーツ協会の助成を受け、地域生活をされている知的障がい者の方がスポーツに接する機会として、今年度も開催することが出来ました。

講師に今金町パークゴルフ協会から三名の方をお迎えし、十八名の皆さんが参加され、パークゴルフのルール等を実際にホールを回りながら学ばれていました。

当日は晴天で、皆さん気持ちよさそうにプレーをされていました。プレー中は「ナイスショット!」等の掛け声が聞かれ、皆さん集中してプレーを行い、ホールインした際は「やったー!」と喜ばれていました。恒例となっているこのスポーツ教室を通し、参加者皆さんが地域の方と交流し、又、スポーツに接する良い機会となったのではないかと思います。



# 施設研修



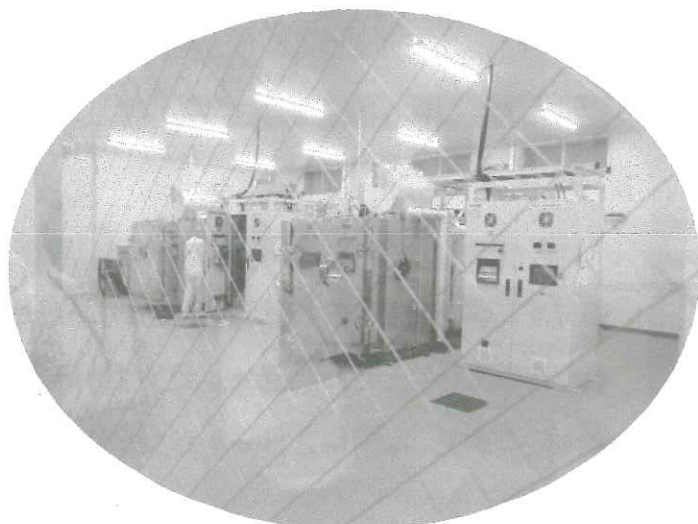
去る九月十三日（金）、江差福祉会様が運営する知内町の障がい者就労継続支援B型事業所「知内FDセンター」におきまして、その活動や事業について研修視察を行いました。

同センターは、は、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練及び適切な福祉サービスの提供を供与する事を目的に平成三十年四月一日に開設されました。

主な作業内容は米粉を使用した災害備蓄製品の製造で特徴としては、地元知内町から加工用玄米を仕入れ、同センターにおいて精米、製粉、加工までを利用者さんがほぼ全てを行い、アレルギーフリーを目指した工場となっています。

また、同センターに隣接してケアホームが三棟あり、自立支援をサポート出来る施設や知内町の道の駅の隣にはパン工房があり、北海道産小麦、知内産米粉を使用したパンを製造・販売し、大変好評を博しており、そこで携わっている利用者さんの生き生きとした表情には、感じるものがありました。

今回の施設研修で、参加者の皆様が高い意識の中で大変有意義な時間を過ごされたと思います。



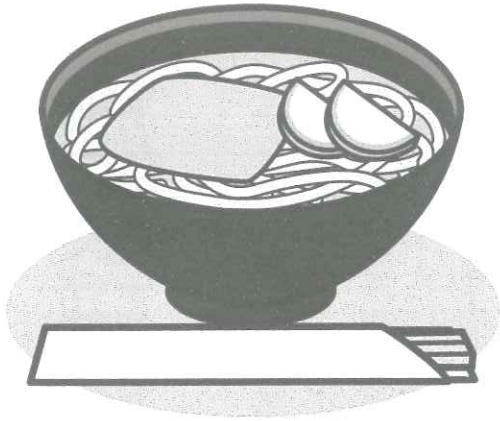
# 今後の事業予定

十月以降の事業予定についてご案内します。  
尚、諸事情により予定が変更したり、やむを得ず中止となる場合も  
ありますので、ご承知おきくだされば幸いです。

## 『料理教室・ふれあい交流会』

※檜山地区手をつなぐ親の会連絡協議会主催

令和元年十一月予定



## 手をつなぐ 育成会とは？

本会は昭和二十七年、三人のお母さんが知的に障がいのある我が子の幸せを願い、教育・福祉・就労など施策の整備、充実を求め、仲間の親や関係者、市民の皆さんに呼びかけたことをきっかけに発足しました。呼びかけに応えて、全国の親や関係者が立ち上がり、四十七道府県の全てに「手をつなぐ育成会」が結成されました。その他市町村施設、学校単位の会もあり、その連合体が「全国手をつなぐ育成会」（旧全日本手をつなぐ育成会）です。  
今金町では昭和四十三年九月十四日に「今金町手をつなぐ親の会」（現育成会）が結成され、檜山管内における施設設置運動により現在の「ひかりの里」が誕生し、今金高等養護学校誘致の主体的な活動を行いました。

## 編集後記

当育成会の活動は、会員の皆様初め、地域の皆様のご理解、ご協力があって初めて行えるものです。事務局としてより関心を持っていただけるよう努力してきたつもりですが、その意識はこれからも変わりません。しかし、足りない面も多く有ると思います。会員の皆様初め、地域の皆様からのご意見、ご要望をお聞かせください。地域福祉の発展のためにも、是非お力を頂ければ幸いです。

(筆 事務局・吉田弘二)